

## 「市政20年の軌跡」小項目一覧

「市政20年の軌跡 一体感醸成の時代～真庭ライフスタイルの時代」で取り上げた小項目をページ順に並べています。全体の流れも分かるように、大中項目も合わせて掲載しています。

### 市政20年の軌跡

#### 一体感醸成の時代

##### ○「社の都」を目指して

真庭ひかりネットワークの構築	28
新たな公共交通サービスの整備	30
行政改革の推進	31

##### ○「賑わい」を目指して

バイオスタウン構想の推進	32
「観光回廊真庭」の展開	33
真庭めぐりネットワークの形成	34

##### ○「安らぎ」を目指して

地域を支える団体を育成	35
消防団を統合、再編成	35
子育て支援の充実を進める	36

#### 真庭ライフスタイルの時代

##### ○「まち」と「ひと」のための【市役所】を目指して

###### ①市役所は運営から経営へ（自己改革）

職員の政策立案能力の向上	43
行政機能の改革	44

###### ②新たな公共施設は市民との議論から生まれる

振興局に公共施設を集約化	45
小・中学校は新たな配置へ	46
「こども園」の整備	47
図書館の「進化」	47

###### ③新たな公共施設は「まち」の魅力づくり

グリーンナブルヒルゼンの展開	49
旭川・りんくるラインの整備	50

###### ④子どもまんなか社会を目指して

「子どもまんなか」の取組	50
障がい者・児発達発育支援センターの開設	51
公園の整備	52

##### ○「ひと」が活躍する多彩な【まち】を目指して

###### ①地域内循環が新たな「まち」の仕組みとなる

真庭バイオマス発電所の稼働	53
生ごみからバイオ液肥を製造	56
デジタル地域通貨「まにこいん」の展開	59

###### ②稼ぐ力が「まち」を未来につなぐ

（一社） 蒜山農業公社	60
農業生産法人ひるぜんワイン(有)	61
真庭産業団地	61
（一社） 真庭観光局	63

###### ③「まち」は市民が楽しむところ

（公財） 真庭エスパス文化振興財団	64
（公財） 真庭スポーツ振興財団	65
蒜山郷土博物館	65

###### ④福祉のところが「まち」を包む

（社福） 真庭市社会福祉協議会の活動	66
--------------------	----

###### ⑤地域振興は「まち」を元気にする

（株）グリーンピア蒜山	67
（株）ノア	68
（有）醍醐の里	68
まにわ日本蜜蜂企業組合	69

###### ⑥「まち」を舞台に「ひと」は活躍する

新生産組合と（一社）アシタカ	70
----------------	----

##### ○豊かな暮らしを応援する【ひと】

###### ①新たな「ひと」の登場(移住・定住)

真庭なりわい塾	71
地域おこし協力隊	73

###### ②地域を応援する「ひと」（地域振興）

###### <自主共生の地域づくり>

NPO法人 吉縁起村協議会	74
富原婦人林研クラブ	74
二川ふれあい地域づくり委員会	75

###### <自然を生かして>

北房ホテル保存会	76
蒜山自然再生協議会	76

###### <歴史をつなぐ>

北房文化遺産保存会	77
旧遷喬小支援団体	78
社地域振興協議会	78
山中一揆義民顕彰会	79

###### <地域の応援団>

勝山町並み保存団体	80
ひるぜん焼そば好いとん会	80
大衆演劇「焼芝一座」	81
湯原温泉しゃくなげ会	82

###### <社会奉仕団体>

真庭青年会議所	82
国際ソロプチミスト真庭	82
真庭ロータリークラブ	83
5つのライオンズクラブ	83

###### <まちづくりは地域の枠を超えていく>

まにワッシュョイ、勝山・町並み会議、おチアーズ	84
-------------------------	----

###### ③市役所と住民をつなぐ【ひと】（行政委員）

民生委員・児童委員	86
愛育委員	86
食育推進ボランティア	87

###### ④高齢者を支える【ひと】（地域共生）

集いの場	88
チームオレンジ	90

###### ⑤地域を守る【ひと】（地域自治）

自主防災組織	90
市道愛護団体	91

###### ⑥子どもを育てる【ひと】（全市民）

つどいの広場	92
放課後児童クラブ	93
おちあいおむすびぶろぐらむ	93
ユースセンターまあぶる	94

# 編集を終えて

多田 憲一郎

真庭市市制施行20周年記念誌  
編集会議委員長

真庭市は、平成17年（2005年）3月31日に勝山町、落合町、湯原町、久世町、美甘村、川上村、八束村、中和村及び北房町の5町4村合併により誕生して令和7年3月31日で20周年を迎えました。9町村合併により誕生した真庭市が20周年を迎えられましたこと、また、その20年間の真庭市の地域づくりを記録するこのような記念誌が刊行されましたことに対して、心よりお慶び申し上げます。

私にとって真庭市は何度も訪れたことのある懐かしい地域です。私のふるさとは、真庭市と県境を挟み隣接している鳥取県倉吉市です。幼少の頃から家族でしばしば蒜山高原を訪れてジンギスカンを食べたり、蒜山三座の雄大な景色に魅了されておりました。当時は犬狹峠を越えなければなりませんでした。現在は犬狹トンネルが開通して倉吉市の市街地から30分程度で蒜山高原に行けます。本当に近くなりました。また、私の小さい頃には「倉吉線」に蒸気機関車が走っており、上井駅（現在の倉吉駅）から倉吉市関金地区にある山守駅までつながっていました。当時、この山守駅からさらに鉄道を真庭郡勝山町まで延ばす計画も策定されていました。この鉄道が完成していたら、倉吉市と真庭市のつながりはどうなっていたらと想像するだけでワクワクします。このような思い出のある真庭市の市制施行20周年記念誌の編集会議の委員長の就任を太田昇市長から依頼されました際には、真庭市との不思議な縁を感じ、感慨深いものがありました。

第1回編集会議は令和6年11月11日に開催されました。最初の会議では自己紹介から始まりましたが、皆さんお一人お一人の真庭を愛する気持ちが溢れていて、この会議は記念誌編集にふさわしい素晴らしい

メンバーが集ったという確信を持ちました。私は委員長という役職でしたが、むしろ委員の皆さんに会議を引っ張っていただきました。特に、女性委員の皆さんは大変熱心に記念誌編集作業に携わっていただき、本当に細かい所までご意見をいただきました。

私の専門は「地域経済学」です。「地域経済の持続可能な発展」を実現するための条件を解明することが私の研究テーマです。地域経済が発展するためには、まずは地域の外からお金を稼いでこなければなりません。そのためには、地域の中で、売るもの、すなわち、商品を創り出さなければなりません。地域経済の発展のためには、商品をどのような方法で創り出すかが重要となります。この商品づくりにおいて、今、注目されている方法が「内発的発展」です。「内発的発展」とは、「地域の住民や企業などが主体となり、地域内の資源を評価して磨き上げ、価値のある商品に仕上げていく方法」です。すなわち、地域の住民や企業などがさまざまな学習をして、工夫をして、自ら動くことにより、地域資源を商品に磨き上げていく地域主導の地域経済の発展のあり方と言えます。

この真庭市市制施行20周年記念誌に登場している多様な人々や住民組織の活動は、まさに「内発的発展」のお手本そのものであり、真庭市が世界に誇ることのできる「宝」であると言えます。この20年間を一区切りとして、真庭市が世界に誇ることのできる「宝」を振り返りまとめておくことは、地域住民や地域企業、そして市役所が成し遂げたことを明確にすることにつながります。さらに、次世代の方々が真庭市の歴史や文化を検討する際の重要な資料に

もなります。したがって、真庭市制20周年記念誌を編集することは、真庭市の価値や魅力を高めるために非常に有益であり、その意義は大きいと考えます。

編集会議では、20周年記念誌を制作する目的を次の3つとさせていただきました。

1. 20周年を祝い、市民すべての人がお互いに感謝の心を共有する。
2. 真庭市制20年の歩みを記録し、将来に役立つ記念誌とする。
3. 真庭市民が郷土に誇りを持ち、愛着を深める

きっかけを作る。

ぜひ、多くの方々に、この記念誌を手にとっていただき、この20年間の真庭市に想いをはせていただき、真庭市を誇りに思っていたいだきたいと思えます。

最後になりましたが、20周年を節目に、真庭市のますますのご発展と真庭市民の皆様のご健勝とご活躍を心より祈念いたしまして、ご挨拶とさせていただきます。

令和8年(2026年)3月



20周年記念誌編集会議

#### 真庭市市制施行20周年記念誌編集会議 委員名簿 (敬称略・50音順)

委員長 多田 憲一郎  
副委員長 亀山 秀雄、三ツ 洋子  
委員 市橋 明子、緒形 尚、金谷 健、清友 久美子、  
黒川 愛、甲田 智之、笹尾 桂子、武方 理愛、  
二若 仁美、森下 さゆり、行藤 宜央、  
行安 太志、吉永 忠洋

<文中の写真について>

写真は、真庭市が所有しているものや  
真庭観光局、各掲載団体、山陽新聞社等のご協力を得て  
所有しているものを使用しています。

---

真庭市市制施行20周年記念誌

## まにわ ひと・まち物語

令和8年(2026年)3月31日発行

編集発行 真庭市

〒719-3292

岡山県真庭市久世2927番地2

TEL.0867-42-1111

---

頒布価格 1,800円(税込)





20<sup>th</sup>

真庭市市制施行20周年記念誌